

# ゆとり

## (理念)

地域の基幹病院として、患者様に信頼され、愛され、満足される、質の高い医療を目指します。

## (基本方針)

1. 高度医療の充実
  1. 高齢化社会への対応
  1. 予防医学の充実
- を目指した、「手作りの医療」を心がけています。

## \*\* Contents \*\*

- ◆ 「風しん、先天性風しん症候群」について
- ◆ 厚生労働省「生まれてくる赤ちゃんのために・風しんワクチン」
- ◆ 味の素 がんリスクスクリーニング「アミノインデックス」のご紹介

### ～お知らせ～

- 平成25年5月より、「外来担当表」が一部変更になりました。
- 平成25年度 全国健康保険協会「協会けんぽ」の生活習慣病予防健診のお申込みを受付けております。詳しくは当院健診センターへお問い合わせ頂くかホームページをご覧ください。

## 「風しんとは…」



**風しん**は、発熱とともに全身に発しんが出現し、耳の後ろや首のリンパ節の腫れを伴うことが多いウイルス性

感染症です。麻しん（はしか）とよく似た発しんが現れますが、比較的淡く、3日程度でおさまるため「**三日はしか**」ともいわれます。春先から初夏にかけて流行することが多く、一般的には1歳から小学校低学年の子どもに多い病気です。ただし、子どもの頃に感染しなかった人や、ワクチン接種を受けていない人は、成人でも感染することがあります。

◆風しんで特に気をつけなければならないのは妊婦が感染した場合です。妊娠初期（20週以内）に妊婦が風しんウイルスに感染すると、胎盤を通じて胎児にも感染し、流産を引き起こしたり、出生児が先天性の心疾患、難聴、白内障になっていることが多いといわれます。そのほか血小板減少性紫斑病、緑内障、小頭症、精神発達遅滞などさまざまな異常がみられることがあります。これらを**先天性風しん症候群（CRS）**といいます。妊娠可能な方は、風しんに対する免疫力（抗体価）を医療機関で調べてもらい、免疫がなければワクチン接種を行うようにしましょう。ただし、接種後2カ月以内の妊娠や、接種後に妊娠していたことに気づいた場合、胎児に感染して先天異常を起こす可能性も考えられますので、ご注意ください。



◆現在、風しんワクチンの製造が追いつかない状態にあります。9月には供給できるそうですが、早めに接種をご希望される方は、麻しん・風しん混合ワクチンの接種をお勧めします。詳しくは健診センターまでお問い合わせ下さい。

風しん  
注意報  
発令



## 生まれてくる赤ちゃんのために 「風しんワクチン」

妊婦、とくに妊娠初期の女性が風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんが「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。耳が聞こえにくい、目が見えにくい、生まれつき心臓に病気がある、発達がゆっくりしているなど、赤ちゃんがそのような生まれつきの病気にならないよう家族みんなで風しんの予防接種を受けることをご検討ください。

女性は妊娠前に

▼  
風しんの予防接種を  
ご検討ください

接種後2ヵ月は避妊が必要です  
接種回数は  
子どもの頃の接種を含めて2回です

成人男性は

▼  
風しんにかかったことがない方  
風しんワクチンを受けていない方  
どちらも不明な方

▼  
接種することを  
ご検討ください

2回接種しても問題はありません

妊娠中の女性の家族は

▼  
風しんの予防接種を  
ご検討ください

妊婦は風しんの予防接種を受けられません  
1歳児（第1期）と、小学校入学前1年間  
（第2期）は麻しん風しん混合ワクチンの  
定期接種を受けましょう

今は成人に多い病気、特に10代後半～50代前半の男性、10代後半から30代前半の女性が多く発病しています

特に昭和54年4月2日～平成7年4月1日生まれの男女は接種率が低く、昭和54年4月1日以前生まれの男性は子どもの頃に定期接種のチャンスがありませんでした

風しんの予防接種は、はしが（麻しん）も一緒に予防できる麻しん風しん混合（MR）ワクチンでうけることをお奨めします

厚生労働省、国立感染症研究所、社団法人日本医師会、公益社団法人日本産科婦人科学会、公益社団法人日本産婦人科医会、  
公益社団法人日本小児科学会、一般社団法人日本小児科医会、公益社団法人日本小児保健協会、一般社団法人日本感染症学会、日本ウイルス学会、一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会  
一般社団法人日本保育業保健協議会、日本産科婦人科学会、日本環境感染学会、一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会、日本ワクチン学会

お問い合わせ先 厚生労働省健康局結核感染症課 TEL. 03-5253-1111(代) 国立感染症研究所感染症情報センター TEL. 03-5285-1111(代)

風しん 厚労省

検索

風しん 感染研

検索

●人のからだにアミノ酸

人のからだは約60%が水分、約20%がたんぱく質でできています。人のからだを構成しているたんぱく質は、20種類のアミノ酸から作られています。



●病気とアミノ酸バランス

アミノ酸は血液中にも含まれており、健康な人の血液中のアミノ酸濃度は、それぞれ、一定に保たれるようにコントロールされています。しかし、さまざまな病気になる、一定に保たれている血液中のアミノ酸濃度のバランスが変化することが分かっています。

●アミノインデックス®とは何ですか？

アミノインデックス®とは血液中のアミノ酸濃度を測定し、健康状態やさまざまな病気の可能性を明らかにする技術を活用した解析サービスです。現在は、がんであるリスク(可能性)を予測する、「アミノインデックス®がんリスクスクリーニング(AICS)」検査が可能となりました。

●アミノインデックス®がんリスクスクリーニング(AICS)とは何ですか？

アミノインデックス®がんリスクスクリーニング(AICS: Aminolndex® Cancer Screening)とは、血液中のアミノ酸濃度を測定し、健康な人とがんである人のアミノ酸濃度のバランスの違いを統計的に解析することで、がんであるリスク(可能性)を予測する検査です。

●AICS(エー アイ シー エス)は全てのがんについてのリスクが予測できるのですか？

現在は、胃がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん(男性のみ)、乳がん(女性のみ)、子宮がん・卵巣がん\*(女性のみ)を対象としたリスクについて予測することができます。

男性AICS[4種]	胃がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん
女性AICS[5種]	胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がん・卵巣がん*
女性AICS[2種]	乳がん、子宮がん・卵巣がん*

●検査の対象者について

AICSは、下記年齢の日本人(妊娠されている方を除く)を対象として開発された検査です。これらの方以外のAICS値は評価対象外となります。

対象がん	対象年齢
胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん	25歳～90歳
前立腺がん	40歳～90歳
子宮がん・卵巣がん	20歳～80歳

●検査前に症状があった場合は、どうすればよいでしょうか？

AICSは、症状のない方を対象とした検査です。あきらかな症状がある場合は、医療機関を受診することをお勧めいたします。

●検査はどのように行われるのでしょうか？

血液を5mL程度採血して検査を行います。1回の採血で、男性AICSは4種類、女性AICSは5種類または2種類のがんに対するリスクについて検査を行います。

●検査の結果はどのくらいで報告されるのでしょうか？

検査結果が報告される日数については、受診する医療機関におたずねください。

●検査の費用について

この検査には健康保険は適用されません。検査の費用については受診される医療機関におたずねください。

●受診前の注意点

- 検査のための採血は、食事後8時間以上あけ、午前中に受診してください。
- アミノ酸のサプリメント、アミノ酸含有スポーツ飲料、アミノ酸製剤、牛乳・ジュースなども食事同様にお控えください。
- 妊娠されている場合、AICS値に影響がありますので検査は受けられません。



●\*子宮がん・卵巣がんについて

子宮がん・卵巣がんは、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんを対象としています。いずれかのがんであるリスクについて予測することができますが、それぞれのがんのリスクについて区別することはできません。

●がんであるリスクとはどのようなことですか？

リスクとは、確率、可能性、危険性などと呼ばれているもので、がんであるか否かをはっきりと判断するものではありません。

AICSは、それぞれのがんについて、がんである確率を0.0～10.0の数値(AICS値)で報告いたします。リスクの傾向は数値が高いほど、がんである確率が高くなります。また、このAICS値からリスクを判断する目安として、「ランクA」「ランクB」「ランクC」に分類され、がんであるリスクの傾向が3段階で示されます。

ランク分類	ランクA	ランクB	ランクC
AICS値	0.0～4.9	5.0～7.9	8.0～10.0

低い ← がんであるリスク → 高い

●ランク別の、がんであるリスク(確率)はどのくらいなのですか？

一般の方ががんである確率は、統計的に約1/1,000(1,000人に1人)といわれています。AICSにおける、ランク別の、がんであるおおよその確率は以下のとおりです。

ランク分類	ランクA	ランクB	ランクC
AICS値	0.0～4.9	5.0～7.9	8.0～10.0
胃がん	1/3,200[0.3倍]	1/625[1.6倍]	1/98[10.2倍]
肺がん	1/2,963[0.3倍]	1/536[1.9倍]	1/111[9.0倍]
大腸がん	1/2,000[0.5倍]	1/789[1.3倍]	1/122[8.2倍]
前立腺がん	1/2,222[0.5倍]	1/469[2.1倍]	1/156[6.4倍]
乳がん	1/1,509[0.7倍]	1/556[1.8倍]	1/250[4.0倍]
子宮がん・卵巣がん	1/4,000[0.3倍]	1/682[1.5倍]	1/86[11.6倍]

【 】: 一般の方ががんであるリスクを1とした場合の、がんであるリスクの倍率  
 例えば、胃がんにおいて「ランクA」となった場合、がんである確率は1/3,200となり、同じ「ランクA」となった3,200人の中1人の確率でがんである可能性を示します。「ランクB」では1/625、「ランクC」では1/98となり、「ランクA」「ランクB」「ランクC」の順でがんである確率が高くなることを示します。  
 また、一般の方ががんであるリスクを1とした場合、胃がんにおける「ランクB」は1.6倍、「ランクC」では10.2倍のリスクがあるといえます(【 】内の数値)。

●「ランクA」であれば、がんではないのでしょうか？

また、「ランクC」であれば、がんなのでしょう？

この検査は、がんであるリスクを予測する検査で、がんであるか否かをはっきりと判断するものではありません。がんであるリスクが0の人はいませんので、「ランクA」でも、がんでないとは言いきれませんし、「ランクB」や「ランクC」であっても、必ずがんであるということではありません。また、血液中のアミノ酸濃度は、さまざまな原因で変化しますので、がん以外の病気でもAICS値が高くなり、「ランクB」や「ランクC」になる場合があります。

AICSは、その他の検査結果とともに総合的に判断されるものです。リスクに対する考え方や感じ方は個人により異なりますので、リスクに対する判断や精密検査を行うかは、受診した医療機関の医師とご相談ください。



●AICSを受診すれば、他のがんに対する検査は必要ないのですか？

AICSは、今までのがん検診とは異なり、血液中のアミノ酸濃度からがんのリスクを予測する新しい検査です。今までのがんに対する検査と併用することで、がんを見つけた可能性が高くなると考えられます。その他の検査も受診されるかは、医療機関の医師とご相談ください。

●AICSは1度検査をすれば良いのでしょうか？

この検査は、採血を行った時の、がんであるリスクを予測する検査です。生涯に渡ってのリスクを予測するものではありませんので、定期的な検査をお勧めいたします。

●日本における死因別死亡率の推移

日本における、がんによる死亡者数は年々増加傾向にあり、1981年以降死因の第1位となりました。また、2010年には、全死亡者数119万7千人中、がんによる死亡者数は35万3千人となり、死亡者の約1/3ががんにより死亡しています。



●がん検診のすすめ

近年、がんの診断技術や治療法は急速に進歩しています。早期にがんを見つけ、早期に適切な治療を行うことにより、がんによる死亡のリスクを減らすことができることから、定期的ながん検診による早期発見が重要です。

**TOPICS 3**

☆当院健診センターにて実施致しております。  
 詳しくは2階健診センター受付またはお電話にてお問い合わせ下さい。  
 島田総合病院 健診センター直通 0479-22-0063

アミノ酸解析サービス

**新しいアプローチで  
がんのリスクをチェック！**

**アミノインデックス®  
がんリスクスクリーニング**

監修:三井記念病院 総合健診センター 所長  
山門 貴